

フルオロカーボン 2 2 ( HCFC-22 ) ( 不活性ガス 無色・無臭 )

分子式	CHClF <sub>2</sub>	分子量	86.48	容器の色	ねずみ色
用途	冷媒 ( 業務用低温機器、ルームエアコン、パッケージエアコン ) 発泡剤、洗浄剤				
該当法規	高圧ガス保安法				
物理的性質	<p>不活性の無色、無臭の液化ガス</p> <p>比重 : 3.0 ( 空気より重い )</p> <p>爆発範囲 : なし</p> <p>沸点 : -40.8</p> <p>着火温度 : 632</p> <p>水への溶解度は 0.3 g / 100g ( H<sub>2</sub>O ) と極めて低い。</p>				
化学的性質	<p>常温では極めて安定であるが、裸火等の高温熱源に接触すると熱分解して塩化水素 ( HCl ) 、フッ化水素 ( HF ) 、ホスゲン ( COCl<sub>2</sub> ) 及びフッ化カルボニル ( COF<sub>2</sub> ) 等の毒性ガスを発生する可能性がある。</p> <p>アルミニウム合金は、マグネシウム含有量が高いと腐食の恐れがある。</p>				
注意事項	<p>液状で大気中に取り出した場合には、周囲から大きな蒸発潜熱を奪って気化するので直接皮膚に触れると凍傷になる恐れがある。</p> <p>気化すると容積が増すので、密閉した室内で使用する場合は、酸素濃度の減少による窒息の恐れがあるので部屋の換気を充分に行う。</p> <p>室温・大気圧下では不燃性であるが、多量の空気が混入した状態で高圧にすると可燃性になることがある。</p> <p>地球温暖化の原因物質のため、廃棄する場合はフロン回収破壊法、自動車リサイクル法、家電リサイクル法に基づき適正に処理する。</p>				

フルオロカーボン 2 2 （不活性ガス 無色・無臭）

事故時の措置

消火方法	-	処理剤	-
漏えいしたとき	<p>バルブを閉めるなど、漏えいを止める。                      容器からの漏えいが止まらない場合は、周囲に火気のない通風のよい場所に移動する。                      大量に漏れた場合は退避させ、漏えいした場所の周辺にロープを張るなどして、人の立入りを禁止する。</p>		
火災のとき ・ 周辺での火災のとき	<p>不燃性で着火しないが、容器の周辺に火災が発生した場合は、容器を風上の安全な場所に移す。                      移動できない場合は、容器及び周辺に散水し冷却する。                      炎により分解生成した有毒ガスを吸入しないように注意する。</p>		
救急処置	<p>液化ガスに接触すると凍傷になる恐れがあるので、濡れた衣服や靴および靴下を直ちに脱がせる。                      付着部を多量の水を用いて十分に洗浄し、刺激が残るときは直ちに医師の手当を受ける。                      高濃度のガスを吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、毛布等で保温して安静にさせ、速やかに医師の手当を受ける。</p>		
特記事項 (人体に対する影響)	<p>フルオロカーボン 2 2 には毒性はないが、濃度が高くなると単純窒息性の危険がある。</p>		
緊急通報例 119(消防署)	<p>1 どこで 市 町 番地 (株) 工場で                      2 なにが 「フルオロカーボン」が                      3 どうした 「漏れています。」                      4 時間は 時 分 頃 です。                      5 けが人は 「けが人がいます。救急車出動をお願いします。」                      6 私の名前は 工場 課の です。</p>		